

第14回 インターアクト年次大会報告

インターアクト委員長 二十二 修 (宇都宮北RC)

2010年8月1日(日)、宇都宮文星女子高等学校にて第14回インターアクト年次大会が開催されました。今年は、「ECO(エコ)」～**今私たちにできること、私たちがしなければならないこと**～との大会テーマの下、宇都宮文星なでしこIACのホスト、宇都宮北RCがスポンサーとして執り行われました。

地区内12のIACより116名のインターアクターが、また、瀬下ガバナー、喜内新世代プロジェクト委員長をはじめ多くのロータリアンにも出席いただき、総勢249名の参加者により、午前9時30分より午後3時30分まで式典と研修が行われました。

開会式は、宇都宮文星なでしこ09-10年度会長川嶋美樹さんの歓迎の辞で始まり、「ECO」を大会テーマとした経緯を話し、子々孫々の代まで青い地球が存在するために、私たちは今何ができるだろうか。何をしなくてはならないだろうか。と問いかけました。続いて、スポンサークラブの山本直由会長ノミニー、ホスト校の上野一典宇都宮文星女子高等学校長より歓迎の挨拶がありました。

瀬下ガバナーは来賓の挨拶の中で、ご自身の企業人としての経験から「ECO」の重要性とその難しさについて話され、インターアクター達もとても興味深げに聞き入っていました。

開会式後の研修は4部構成で行われました。

研修Iでは、白鷗大学足利高等学校IAC、足利工業大学付属高校IAC両校による、活動報告が行われました。タイ国で披露した演舞も再現していただき、拍手喝采一気に会場は盛り上がりました。

研修IIは「ECO」をテーマに東京電力、日産自動車、環境ワークスの3社による講演がありました。エコ先進企業の考え方や取り組みに、皆興味津々の様子でした。

昼食を挟んだ研修IIIはグループディスカッションが行われました。各グループはそれぞれのテーマ毎に活発な意見交換の中友情を深めていました。

最後の研修IVは、実体験として廃油を利用した石鹸作りに挑戦しました。屋外の作業のためインターアクターはもちろん、ロータリアンも皆額に玉のような汗を浮かべ、一生懸命石鹸作りに挑戦していました。

閉会式では、喜内新世代プロジェクト委員長より講評をいただき、インターアクトの更なる活躍を期待されました。

真夏の暑い一日でしたが、それよりも熱いインターアクターの心に触れ、ロータリアンとして新たなエネルギーをいただくと共に、新世代育成の重要性を再認識した一日でした。

最後になりますが、年次大会開催にあたりご指導、ご支援いただきました関係各位に対し厚く感謝申し上げます。インターアクト年次大会の報告といたします。



白鷗大足利高・足工大高の活動報告



白鷗大足利高IACのエイサー



「ECO」をテーマに講演



グループディスカッション



廃油を利用した石鹸作り

ガバナー月信

田中作次氏

2012-13年度 国際ロータリー会長に指名される!

8月8日エド・フタ事務総長より、2010-11年度会長指名委員会は、2012-13年度国際ロータリー会長として、全会一致で下記の通り指名したと連絡がありました。

第2770地区 八潮ロータリー・クラブ
田中作次氏

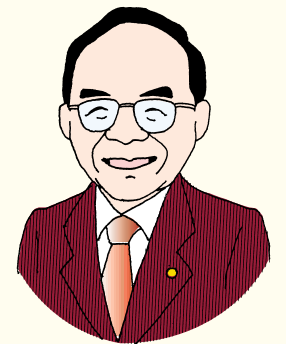
日本人のRI会長は東ヶ崎 潔氏、向笠 広次氏につぎ3人目、30年ぶりの快挙です。
おめでとうございます。

ガバナーメッセージ

新世代を育成しよう

国際ロータリー第2550地区
2010~2011年度ガバナー

瀬下 龍夫



2010年規定審議会で、第五奉仕部門として「新世代奉仕」を加える採択制定案が通りました。クラブにとって最大の変更事項です。8月末までに反対表明があるかもしれませんが、9月は新世代月間です。確認を待っていると原稿締め切りに間に合いませんので、あえて新世代を中心に私見を述べさせていただきます。

まずは、標準ロータリー・クラブ定款の第五条の四大奉仕部門は五大奉仕部門に改定され、「5.」として次の文言が追加されます。

5. 奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指

導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

単語は優しくなっているが、あいかわらず、長い文章で覚えにくい。忙しいロータリアンに、理解するまで読みかえせというのでしょうか。

さて、セミナーや研修会でも、私は新世代奉仕を強調してまいりました。そこで月間に

備え、これまで参加してきたプロジェクトを振り返ってみたいと存じます。

まず、意欲に溢れた委員さんたちに恵まれたことを感謝します。彼らならきっと素晴らしい成果を出してくれるでしょう。

ロータリーの友8月号の20頁を開いてください。木々の生えていない異様な山の姿を、あなたはどう思いますか。これは「足尾に緑を育てる会」の写真です。宇都宮西クラブにお願いし、宇短大高校のインターアクターやローターアクターと一緒に春の植樹デーに参加しました。現場に立つと、当時の環境保護に対する考えが頭に浮かび、産業界の端くれにいた私としては複雑な心境でした。一方、他のインターアクターも多く参加しており、感心もいたしました。緑がここまで回復したのは多くの方の熱意のお陰でしょう。偶然現地でお会いした塩谷高校の狐塚顧問教諭の“はじめて参加しましたが、来年はもっと大勢インターアクターを連れてきます”というお言葉に小生も感動いたしました。先生も私と同じように木の生えている山に戻すべきだと痛感されたのでしょうか。



「足尾に緑を育てる会」に参加

「石の香や 夏草赤く 霧あつし」その殺生石の近く、なす高原自然の家で開催された夏期交換学生の歓迎会で、カリフォルニアから来た学生たちと一晩楽しく過ごしました。肉体的にはもう完全に大人でした。挨拶のとき、暗闇の河原で拾わされた石の逸話を引用いたしました。翌朝それは単なる石ころではなく宝石の原石だったという話です。情報もその重要性に気がつかず、拾いそこなっていることが多いのです。宝石と同様もっとたくさん集めて置けばよかったと後で思うことがあります。寝る前の情報交換会で、アメリカの青年から、宝石の話はこれまでに面白く、かつ、ためになったと言われたときには、原

稿作成の苦労も吹き飛びました。

引率して来られたのは日本人でした。米国のトランス・クラブで会長まで務められた積極的な方です。米国籍のない人でも会長にするアメリカ・ロータリアンの心の広さに、異文化理解の大切さを再認識させられました。こういう人と知己になれたのもロータリーのおかげです。

また想像以上の多くのロータリアンにも参加いただき、青少年交換にたいする熱意のほどを肌で感じました。

猛暑の中、板橋理事長率いる足利東クラブのかたたちと、上海で開催された米山中国学友会2010年度総会に参加してきました。まだ中国人にはロータリー・クラブは作れません。それなのに会場には大きなロータリーのマークが掲げてありました。彼らの勇氣に感無量でした。凡そ400人の人々が一同に会し、旧交を温めているのを目の当たりにして感動しました。まさに実のある総会です。



第2回 米山中国学友会総会

「感恩、交流、奉仕」が学友会の活動方針として表明されました。日本人の気持ちを中国に広めたいという言葉、かつての奨学生から聞いたとき、亡き米山翁の先見の明に得心いたしました。学友は新世代ではありませんが、若者ということであえて触れました。

自転車に溢れていた上海が、いつのまにやら自動車一杯。まさに日本の高度長期と同じで、前が50センチでも開いていれば、接触するリスクを犯してもわれ先に車を突っ込む。でも昔の日本人のように怒鳴らない。一面は大人だ。このバイタリティーがあれば高度経済成長はまだ続くだろう。リニヤー・モーター・カーの横ぶれは新幹線より大きいし、時速も3百キロほどだ。水は硬質なのでペットボトルで飲むが、キャップが私の力ではとれない。金型の精度が悪いからだ。ホテルの

値段は日本の高級並みなのに、テレビはチャンネルを変えると、2、3秒間消える。数字のチャンネルがないのかと思って、次のボタンを押しても映像は現われない。もう一度押す。壊れているのか思いきや、やおら最初の映像が表れる。続いてひとりでの次の場面といった次第。日本の精密さに慣れってしまった小生はちょっとイライラする。でも直ぐに改善されるだろう。そこが中国の凄さだ。ガイドは、外で商人に誤魔化されないよう何度も注意するが、たまたま必要があってホテルで追加両替したレートのほうが、その少し前、交換した彼のレートよりよかったのはお笑いだ。でも楽しい数日でした。ロータリー米山記念奨学金にも協力し甲斐がある。

文星女子高で開催されたインターアクト年次大会も素晴らしかった。「ECO」— 今私たちにできること、私たちがしなければならないこと — は時宜にかなったものでした。私も、環境問題に関しては、大所高所から本質



第14回 インターアクト年次大会

を見ないと、正しい判断はできないと、北極海で氷山が崩れる映像を例に、日頃の自説を披露する。暑いさなか、大先輩の亀和田PGはじめ多くのロータリアンが参加され、その熱意に感動された一日でした。ご苦労様でした。

その夜、開催された青少年交換にともなう危機管理研修会では忌憚のない議論ができ、大いに勉強させられた。こんなに真剣なロータリアンが大勢いるのに、なぜ会員減少が起こるのか不思議でなりません。

第2550地区のローターアクターの人数は日本では最低です。これは何とかしたいと思っていたら、宇都宮の9クラブの会長、幹事さんを始め関係委員とローターアクターが集まってくださる。活発な議論がこんなに出るのに、なぜローターアクトは低調なのだろうか。インターアクトはそこそこアクティブなのに、そ

の上の年齢なるとなぜ火が消えてしまうのか。せつかくロータリアンの種を撒き、インターアクトとして芽を出させても、その後の手入れをせぬためか、実がなる前に枯らしてしまうようなものだ。フォローが悪いのか。相談する人がいない、生きる意義が見出せないという若者は結構いる。社会のニーズだろう。彼らを助けるためにも本当のアクターを育てられないか。ローターアクトは金食い虫だと誤解され、やる気のないクラブも多い。昔と違うのだ。この誤解も解きたい。アクターは自ら活動費を稼ぎ出し、有意義な事業を展開している。大学にアプローチして、学校を中心にローターアクターを勧誘したいという案も伺った。成功されることをせつに祈っています。

今回参加されたローターアクターは全員女性で、(実は一人男性がいましたが彼は米山奨学生で日本人ではありません) 活力に溢れていました。人口の半分は女性です。女性は真面目です。入会すると簡単にはやめません。ロータリー・クラブも他山の石にすべきではないでしょうか。

R財団学友会も楽しく開催されました。元GSEメンバーがカンボジアつこ支援の会を運営していたり、国際親善奨学生がアメリカのMBAをとり、世界の超一流金融機関で働いていると嬉しくなります。

これだけ熱意のあるロータリアンがいるのに、地区の会員数は残念ながら危惧したとおり1,750名近くに下がってしまいました。

でも、新世代関係者と話していると、その熱意が自然と伝わり、ロータリアンも充分いる感じがして、勇気づけられます。新世代の年齢に戻って、がんばりましょう。

月末には地区大会が開催されます。あなたの地区大会です。あなたが主役です。是非参加され、最後まで残って大会を盛り上げてください。中途退席はお勧めいたしておりません。お忘れになりませんように！

ありがとうございました。





宇都宮陽北ロータリークラブ創立15周年記念式典

ホームカミング スピーチ 報告



ロータリー米山記念奨学会学友委員会委員長
恩田 光 憲 (宇都宮西RC)

宇都宮陽北ロータリークラブの皆様、この度はクラブ創立15周年、誠にありがとうございます。ホームカミング制度で招待された郭さんの件をご報告させていただきます。

米山記念奨学会のホームカミング制度は、板橋敏雄理事長の考案により、2008年からスタートしました。昨年度は13人の米山学友が来日し、RID2550地区では、宇都宮大学大学院に在籍中、西那須野RCが世話クラブをされた、中国の白麗芬さんが来日し、地区大会でスピーチをされました。この制度は主に海外で活躍する（今年からは、海外でなくとも他地区に在住する方も対象となりました）米山学友を各地区で毎年1名招待し、現在の活躍ぶりや、ロータリアンが蒔いた種が、世界でどのような芽を出し、花を咲かせているのかを多くの方にみていただくための制度です。

今年は、マレーシアの郭思坊（ケツ サイ フォン）さんが、来日しました。郭さんは宇都宮大学工学部に在籍し、1996年4月から1998年3月まで、米山奨学生として、宇都宮陽北RCが世話クラブをされ故青木亨会員がカウンセラーを務められました。現在も会員との交流が続いており、この度宇都宮陽北RCが創立15周年を迎えるに当りホームカミング制度に応募ということになり今年の招待者として選ばれました。

この6月13日(日)、ベルヴィ宇都宮において、宇都宮陽北ロータリークラブ創立15周年記念式典とパーティーが開催されましたが、郭さんとご主人、お二人のお子様と共に参加され、式典の中でスピーチをされました。

スピーチでは、まず、15周年の式典に招待されたことを大変うれしく思い、ロータリーの皆様に感謝を申し上げておりました。

郭さんは、大学終了直後にマレーシアに戻り、現在に至るまで、シャープエレクトロニクス・マレーシアのTV研究開発センターに勤務されています。現在は、CRT-TV商品企画部門のアシスタントマネージャーとして活躍しています。日本では液晶テレビに切り換えています。発展途上国の主流はまだCRT-TVとのことです。仕事内容は、新製品の開発、各市場の調査、データの分析をし、それぞれの市場に一番合う商品を創出することだそうです。

また、マレーシアの紹介もされました。マレーシアは、30以上の民族からなる多民族国家で、多言語、多宗教だそうです。

マハティール前首相がルックイーストと呼ばれる「東方政策」を提唱し、日本などの先進国に学ぶことを国民に呼びかけ、それ以降日本とは投資や貿易、技術協力などを通して緊密な関係にあり、現ナジブ首相も東方政策を継続しており、日本とは良好な関係にあると結びました。

パーティーでは、ご主人と1歳と7歳のお二人のかわいいお子様も交え、クラブの方々と和やかに楽しいひと時を過ごしました。

陽北RCの皆様、この度はクラブの記念式典に板橋理事長、塚越米山委員長と私と、米山委員会の関係者を3名もご招待いただき、誠に有難うございました。お陰様で、この度のホームカミングの様子をよく拝見させていただくことができました。

地区内の他クラブの皆様方にも、このホームカミング制度に応募していただき、世話クラブを担当された米山学友の方々と、日本にお呼びし、再会される機会を是非作っていただけたらと思います。



郭思坊さんのお家族と



あいさつする
郭思坊さん



第二回 米山中国学友会総会に参加して

ロータリー米山記念奨学会学友委員会委員長
恩田 光 憲 (宇都宮西RC)

第二回の米山奨学会中国学友会2010年度総会ならびに懇親会が7月17日(土)に中国上海市の上海国際会議センターで開催されました。

私も板橋米山奨学会理事長、瀬下ガバナーと一緒に、足利東RCの会員ご家族の皆様の総勢19名のツアーに便乗し参加させていただきました。

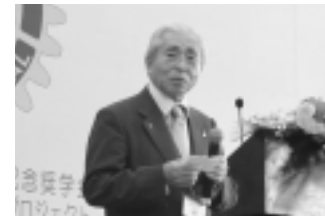
中国学友会は昨年3月に、第一回の総会が北京のホテルで開催され発足しました。国情からロータリーの組織がない中国で学友会の組織を作ることは大変な努力があったと思われます。それでも念願が叶い第一回の総会を開催したときの姫軍会長の言葉には、米山学友のロータリーへの感謝の気持ちがあふれ出るものであったようです。そして今回の第二回の総会が上海で開催されましたが、中国での学友会の設立を知った全国からのロータリアンが、それを祝う気持ちをいっぱい持って上海に集まってきました。

第一回はロータリアンが3名で学友が90名くらいであったようですが、今回は学友が約160名、ロータリアンが253名と盛大なものでした。地区で世話クラブをした学友も、私が把握しただけでも5名おり、皆、地域で立派に活躍しておられます。5名は以下の方々です。項兵(矢板)、黄亮(宇都宮南)、九榮(矢板)、俞培蓉(宇都宮)、尤迪(宇都宮南)。

ロータリークラブのない中国で、会場には正面に大きなロータリーのエンブレムを堂々と掲げられていたことは大変印象的で、皆ロータリーに対する感謝の気持ちを述べている姿は感動的なものでした。

プログラムにはセレモニーもありましたが、間間に20分から30分の自由交流時間が設けられており、それは学友とロータリアンが自由に会話をしたり、記念写真を撮ったり、かえって盛り上がる時間となり、ユニークな企画でした。

今回の総会に参加して、米山の事業は国際親善の観点から、決して無駄なものではないと感じました。日本のロータリーの創始者とも言うべき米山梅吉氏が未来のロータリーに描いていた思いが、着実に実を結んできているのではないかと、板橋理事長が話されておりました。日本のロータリーを精神を理解してくれる海外からの留学生が、これからますます増えていくように、皆様の米山へのご協力を宜しくお願い致します。



ガバナー公式訪問スタート

本年度、瀬下ガバナーの公式訪問が森パストガバナーの宇都宮西ロータリー・クラブからスタートしました。ガバナーとして大切な行事であり、クラブとしては緊張と有意義な一日です。

宇都宮西ロータリー・クラブ

例会日 平成22年7月22日

会長 横松 宏明 幹事 木内 裕祐

7月22日（木）、瀬下年度の名誉ある第一番目の公式訪問が行われました。午前11時より瀬下ガバナー、矢嶋ガバナー補佐、茂木地区会計長、渡邊幹事をお迎えし、当クラブより横松会長、塩濱会長エレクト、柴田情報委員長、木内幹事を交え懇談会が開催されました。横松会長より当クラブの特色ある社会奉仕活動である、B・Bバルーンキャンペーン、足尾植樹の内容を説明いたしました。そしてB・Bバルーンキャンペーンについては是非第2550地区全体に広めたい旨お話いたしました。ガバナーよりご自身の経験を踏まえて、人集めの方法、又特に若い人達に多く聞いてもらうにはどうすれば良いか、細かいところまでのご指導を頂きました。足尾の植樹については、活動の結果、足尾の山々がどんな風変わったかを見せる必要があり、それにより更なる効果を引き出せるのではないだろうかとおっしゃいました。現況報告書に関しましては、レベルの高い、素晴らしい報告書であるとお誉めの言葉を頂きました。この短期間で完成させた木内幹事の顔が少しほころびました。続いて例会で卓話を頂きクラブ協議会へと移りました。各委員会の活動計画に対するガバナーのご指導の根底に、常にロータリーがどんな活動をしているのかを一般の人たちに知らせ、それにより地域の活性化が進み、ひいては地域を育むことになる、と言う事でした。その為我々は何をすべきか改めて考えたいと思いました。質疑応答の時間がないほどの熱心な協議会でした。



栃木南ロータリー・クラブ

例会日 平成22年8月12日

会長 長谷川 孝 幹事 片柳 均

栃木南ロータリークラブのガバナー公式訪問は、お盆間近の8月12日に開催されました。壬生ロータリークラブ会長並びに副幹事の随同行により、瀬下龍夫ガバナーは暑さをものともせず、お元気に当クラブ例会場サンプラザにお出でになりました。

プロジェクターを持ち込み颯爽とコンピューターに取り組み卓話の準備から始まりました。そのセッティングが終了し、正副会長幹事並びにガバナー補佐を交えた懇談会が始まりました。話題のきっかけは、さる8月8日ロータリー財団の研究会に当クラブ会長が出席したことから、財団への取り組み方やその寄付の仕組み等お話しいただき、さらに米山記念奨学会への取り組みなど

ガバナーとしてのお考えを聞く事が出来ました。

懇談会を終え、例会の時間となり点鐘から食事タイムをとり、いよいよクラブ協議会の時間です。クラブ奉仕委員会からのスタートで、各委員会報告の都度ガバナーよりご意見を頂く形式で始まりました。クラブ奉仕はCLP導入後1年目の活動に際し委員会の一元化を含めクラブテーマの「思いやりと助け合いそして楽しい親睦活動」を実現したいとの発表から始まりました。プログラム委員会に於いてはやはりCLPによる委員会の減少によりプログラム担当が多くなった事に対し、ガバナーから「それぞれの卓話を大切にするためにはその事前の広報活動も重要である」との意見があり参考にさせて頂きました。さらに出席委員会におきましては委員長熱弁もあり大変な盛り上がりがありました。その後も簡潔にまとめたそれぞれの委員会報告でしたが、ガバナーのお人柄もありなごやかに意見交換やアドバイスを頂く事が出来ました。

時間はアツと言う間に過ぎ定刻2時45分には終了し栃木南ロータリーにとっては意義あるガバナー訪問を終える事が出来ました。



塩原ロータリー・クラブ

例会日 平成22年8月18日

会長 手塚 秀男 幹事 高田 修一

8月18日(水)、瀬下ガバナー・小野田ガバナー補佐・刀川地区幹事をお迎えして、塩原温泉ホテルニュー塩原で公式訪問を実施しました。

午前11時より会長・幹事懇談会を開催しました。当クラブは少人数で殆んどが会長・幹事経験者なので全員参加で自己紹介をしながら和やかに行いました。

瀬下ガバナーの壬生クラブさんも小クラブで当クラブも小クラブであるためクラブ運営の情報交換を行ない、又現況報告書の定款と細則の違いを指摘され次回の現況報告書では直すように御指導頂きました。

例会に於いてはロータリー長期計画を話されロータリーのビジョン、優先項目、中核となる価値観、使命を大事な部分を解り易く説明して頂きました。

バナーを交換後クラブ協議会を行いました。最初に手塚会長より塩原RCの歴史、現状を説明してから協議会に入りました。各委員長の方針を確認しながら不明な点を次回に改善するように指摘されました。小クラブでロータリー財団、米山記念奨学会の寄付をすることは立派ですと褒めの言葉を頂きました。社会奉仕と職業奉仕を合わせれば、地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にできます。ロータリーの精神性を持つことが大事です。と真摯に話されました。瀬下ガバナー公式訪問の御指導を今後のクラブ運営に活かしてまいりたいと思います。





第2550地区 新入会員紹介



まえかわ たかし
前川 隆
(足利RC)

JTB関東向毛支店 支店長
平成22年4月1日入会
どうぞよろしくお祈りします。



のなか けんさく
野中健作
(足利RC)

かざか証券㈱ 足利支店
平成22年4月2日入会
為せば成る、為さねば成らぬ何事も。成らぬは、人の為さぬなり。



いしはら まさみ
石原誠巳
(鹿沼RC)

日光ふる里たまり漬 専務
平成22年6月24日入会
鹿沼ロータリー100周年の席に出席できるようロータリー活動に邁進します。



おおike あきら
大久保 明
(氏家RC)

栃木銀行 氏家支店支店長
平成22年7月1日入会
この度入会させていただきました。どうぞ宜しくお願い致します。



さいとう まこと
齊藤 誠
(真岡RC)

栃木銀行 真岡支店支店長
平成22年7月1日入会
RCには初めて参加させていただきます。よろしくお祈り致します。



ますだ くにお
増田邦雄
(田沼RC)

増田運送㈱ 代表取締役
平成22年7月6日入会
田沼クラブに入会しました増田邦雄です。どうぞよろしくお祈り致します。



わたなべ まさひろ
渡邊将宏
(西那須野RC)

㈱万建設興業 代表取締役
平成22年7月6日入会
若輩者ですが、どうぞよろしくお祈り致します。



かわら しげる
河原 繁
(益子RC)

㈱天昇堂 代表取締役
平成22年7月7日入会
よろしくお祈りいたします。



なかむら としみ
中村利美
(益子RC)

NPO法人昭和ふるさと村 理事長
平成22年7月7日入会
RC入会が、より高い自己成長につながるものと、とても楽しみにしています。



そのだ まさし
園田昌志
(宇都宮RC)

清水建設㈱栃木(株) 営業所長
平成22年7月14日入会
よろしくお祈り致します。



きやま きみひさ
北山公久
(西那須野RC)

栃木銀行 西那須野支店支店長
平成22年7月20日入会
鹿沼東RCでの2年間の活動を活かしながらフレッシュな気持ちで頑張ります。



あらかわ ひさひさ
荒川久則
(西那須野RC)

大田原信用金庫 支店長
平成22年7月20日入会
那須・塩原の山々が好きでハイキングを楽しんでいます。



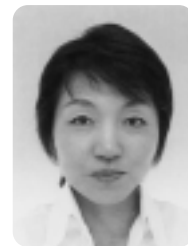
ひとみ まさひこ
人見誠彦
(大田原中央RC)

大田原信用金庫 本店営業部長
平成22年7月20日入会
ロータリアンとして頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈り致します。



あいざわ ゆたか
相澤 裕
(大田原中央RC)

㈱相澤園芸 代表取締役
平成22年7月20日入会
よろしくお祈りいたします。



やすだ かおり
安田香織
(大田原中央RC)

㈱安田 専務取締役
平成22年7月20日入会
会の交流の中で、色々なことを身につけて日々の向上に努めます。

クラブ例会場 変更のお知らせ

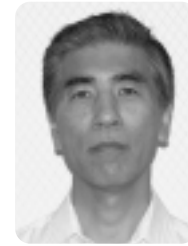
●栗野西方RCより例会場の変更です。

新例会場／社会福祉法人 ユートピアにしかた

〒322-0601 上都賀郡西方町金崎403-1
電話 0282-92-0533・FAX 0282-92-0125



第2550地区 新入会員紹介



しみず たかまさ
清水孝真
(宇都宮西RC)

㈱清水造園
平成22年7月29日入会
ロータリークラブ新会員として頑張りますので、よろしくお祈り致します。



さいとめ つとむ
五月女 勉
(宇都宮西RC)

東京電力㈱ 栃木支店宇都宮支社 支社長
平成22年8月5日入会
会員の皆様との交流を深めたいと思います。よろしくお祈り致します。



わたなべ ひでお
渡邊秀夫
(栃木西RC)

㈱ワタナベ土木 代表取締役
平成22年8月10日入会
よろしくお祈り致します。

■物故会員■ 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



物故
平成22年8月1日
享年67歳

かな いくに お
金井邦夫様
(足利RC)

■ロータリー歴 昭和56年10月24日入会
1994～95年度 幹事
2002～03年度 会長(第51代)
2006～07年度 第8グループガバナー補佐

■財団・米山記念奨学金などの寄付歴
ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

文庫通信(275号)

地区大会講演より

- ◎「ロータリーの歴史をふまえて」 南園 義一 2010 2p (D.2770)
- ◎「UNDP親善大使として、見たこと、感じたこと」 紺野美沙子 2010 2p (D.2770)
- ◎「日本人のこころ」 徳川 恒孝 2010 10p (D.2590)
- ◎「日本のこれから」 藤原 正彦 2010 4p (D.2590)
- ◎「世界の水問題」 金杉 誠 2010 6p (D.2590)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 日本人の職業倫理」 島田 子 2010 3p (D.2530)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」 木戸 邦考 2010 4p (D.2530)
- ◎「現代に生かす 戦国武将の知恵」 松平 定知 2009 8p (D.2800)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

お知らせ

ホームページの利用方法をCDにまとめました。ガバナー事務所に有りますので、ご利用下さい。

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp

公式訪問日程 変更のお知らせ

●下記の公式訪問の日程が変更になりました。

真岡西R.C 9/13 ⇒ 11/8(月)

小山南R.C 9/14 ⇒ 10/19(火)

よろしくお祈り致します。



2011～12年度 一年交換学生募集要項

国際理解と親善を推進する青少年交換プログラムは、親善使節として最長1年間にわたり海外で滞在、通学し、ホストロータリークラブの指導の下、諸活動に参加できる有意義な高校生レベルを対象とした派遣プログラムです。青少年交換学生はホストファミリーと一緒に生活し、他国の生活、文化、教育などを体験します。

派遣国 アジア、欧州等。(派遣先は委員会により決定します。)
 <2009年実績：タイ、米国、カナダ、フランス>

派遣期間 2011年8月頃～2012年7月頃の約1年間

募集人数 若干名

応募資格 1. 栃木県内居住または県内高校に在学し、日本国籍を有する
 高校1年生及び2年生
 2. 保護者承諾、学校長とロータリークラブの推薦を得られる者

費用負担 個人負担：往復航空運賃、渡航手続き費、保険料、研修費等
 派遣先国での生活費、学費は全て受入ロータリークラブが負担します。
 滞在中、ホストクラブから毎月1万円程度の小遣いの支給があります。

応募方法 電話かメールで詳細確認又は応募したい旨、下記へ連絡下さい。
 国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所
 TEL：028-651-2550
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp
 担当の青少年交換委員より資料が送付されます。

応募締切 2010年9月30日(木) 必着

選考試験 2010年10月3日(日) 場所：ガバナー事務所の予定

可否発表 2週間以内に本人、推薦クラブに文書で通知されます。

研修会 合格者は数回の研修会（オリエンテーション）の義務出席があります。
 その間、交換学生として不適当とみなされた場合、合格を取り消す場合もありますので、予めご了承下さい（保護者同伴の研修会もあります。）。

派遣国決定 数回のオリエンテーションを経た後、本人の意向も考慮の上、最終的に地区青少年交換委員会が決定します。

交換とは地区（District）と地区の交換ですから、推薦クラブが外国からの受入クラブとなる訳ではありません。又、単に語学修得を目的にした制度ではなく、日本と相手国の相互理解を通し、世界平和を推進するロータリーの新世代（青少年）プログラムです。

区分	クラブ名	例会数	出席率		会員数								
			今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員	
第1グループ	大田原	5	83.09	83.09	39	39	0	0	0	0	0	0	2
	黒磯	4	100.00	100.00	44	44	0	0	0	0	0	0	1
	西那須野	4	97.56	97.56	42	44	3	1	3	1	2	0	0
	黒羽	5	96.84	96.84	19	19	0	0	0	0	0	0	1
	那須	5	78.57	78.57	14	14	0	0	0	0	0	0	2
	塩原	4	77.27	77.27	10	11	1	0	1	0	1	0	0
	大田原中央	4	86.00	86.00	23	25	3	1	3	1	2	2	2
第2グループ	烏山	4	92.85	92.85	14	14	0	0	0	0	0	0	1
	氏家	5	92.06	92.06	24	24	0	0	0	0	0	0	0
	矢板	4	70.15	70.15	31	31	0	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	4	94.10	94.10	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	72.00	72.00	18	18	0	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	4	77.30	77.30	92	93	1	0	1	0	1	0	0
	宇都宮西	5	87.66	87.66	66	68	2	0	2	0	2	0	0
	宇都宮北	5	79.66	79.66	49	49	0	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	88.43	88.43	39	39	0	0	0	0	0	0	5
	宇都宮陽北	4	79.41	79.41	35	35	0	0	0	0	0	0	4
第3グループB	宇都宮東	4	93.57	93.57	95	95	0	0	0	0	0	0	0
	宇都宮南	4	77.94	77.94	51	51	0	0	0	0	0	0	0
	宇都宮陽東	4	63.10	63.10	44	45	1	0	1	0	1	0	0
	宇都宮陽南	5	92.00	92.00	20	20	0	0	0	0	0	0	3
第4グループ	真岡	5	97.52	97.52	50	50	0	0	0	0	0	0	0
	益子	4	88.50	88.50	29	31	2	0	2	0	2	0	0
	真岡西	4	94.65	94.65	40	40	0	0	0	0	0	0	6
	しもつけ	4	94.69	94.69	33	33	0	0	0	0	0	0	9
第5グループ	小山	4	98.00	98.00	39	39	0	0	0	0	0	0	0
	小山南	4	97.20	97.20	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	小山東	5	91.71	91.71	33	33	0	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	85.00	85.00	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	小山中央	3	86.10	86.10	24	24	0	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃木	4	82.82	82.82	41	41	0	0	0	0	0	0	0
	栃木西	4	82.24	82.24	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	壬生	4	77.50	77.50	21	21	0	0	0	0	0	0	3
	栃木南	4	91.30	91.30	31	31	0	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日光	4	79.54	79.54	24	24	0	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	5	82.00	82.00	66	66	0	0	0	0	0	0	1
	今市	4	91.52	91.52	41	42	1	0	1	0	1	1	1
	鹿沼東	4	95.89	95.89	43	45	2	0	2	0	2	3	3
	栗野西方	5	82.80	82.80	14	14	0	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	87.04	87.04	27	27	0	0	0	0	0	0	2
	今市きぬ	4	94.64	94.64	28	28	0	0	0	0	0	0	0
第8グループ	足利	4	71.27	71.27	40	40	0	0	0	0	0	0	0
	足利東	3	82.80	82.80	55	59	4	0	4	0	4	8	8
	足利西	4	80.75	80.75	13	13	0	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	5	96.42	96.42	28	28	0	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	3	97.13	97.13	58	58	0	0	0	0	0	0	0
	葛生	4	93.40	93.40	38	38	0	0	0	0	0	0	0
	田沼	5	88.92	88.92	35	36	1	0	1	0	1	0	0
	佐野東	4	96.74	96.74	21	23	2	0	2	0	2	0	0
	岩舟	4	94.00	94.00	22	22	0	0	0	0	0	0	1
	50RC		87.23	87.23	1757	1778	23	2	23	2	21	74	